

受 賞 の 言 葉

栃木県小山市長 浅野正富

この度は、小山市の「田園環境都市おやまビジョン」に対して、日本計画行政学会第21回計画賞の優秀賞を授与いただき、誠にありがとうございます。

小山市では、2020年からコウノトリが繁殖し都市環境と田園環境のバランスがとれた「田園環境都市おやま」の持続可能なまちづくりを進めてきました。

単にSDGsはじめ持続可能な取り組みを網羅的に行なうのではなく、バックキャストによる市民と共創のまちづくりを実践するため、「田園環境都市おやま」の30年後のあるべき姿を描くビジョンを策定しました。

ビジョンが重視したのは地域であり、市民がそこに住み続けられ、ウェルビーイングを実現することを最上位の目標にしました。そのために、地域ごとの成り立ち、風土、自然、文化、伝統、人々の生業等についての文献・踏査調査と、地域住民の意識を確認・聴き取る簡易社会調査による風土性調査を3年以上の時間をかけ市内11の全地区で実施し、地区別ビジョンを策定しています。

小山市は、今回の受賞を大きな糧に、人口減少に抗し今まで住んできた地域に子や孫が暮らし続けられる、本来の意味での持続可能なまちづくりを進めてまいります。